

↑ブルガリアでは、多くの民家の庭先に薔薇が咲き乱れている。左はヤンコヴァさん宅の中庭。日本の藤棚のような「薔薇棚」の下をくぐり抜けるのは、なんとも優雅な気分

←街角ごとに目に飛び込んでくる色鮮やかな薔薇は、まさにブルガリアのシンボル。左は中世の雰囲気の色濃く残す街、プロブディフ。左下は首都ソフィア

右下は医師であり、ローズオイルのメーカー代表を務めるヤンコヴァ・デミトリーナさん。右はオリジナルの薔薇のサプリメント、下はローズオイル



↓アテネ五輪の新体操で銅メダルに輝いたジャネッタさん。右下はブルガリア土産としても人気の薔薇のジャムやリキュール



薔薇に祝福されたブルガリアの人たち

や羊も行き交うのどかな土地柄。そんな中、色鮮やかな民族衣装に身を包んだ女性たちが薔薇の花籠を持って練り歩くパレードは、なんともほのぼのとして美しい。

ブルガリアで薔薇が栽培され始めたのは今から330年ほど前。以来、薔薇はブルガリアに暮らす人たちにとって切っても切り離せない国の宝となった。栽培用の薔薇畑のみならず、街にはそこかしこに薔薇の花が咲き乱れ、薔薇を愛する国民性が伝わってくる。食用にもなる薔薇は、ジャムやリキュールとなって食卓にも上り、また女性たちは幼い頃からローズオイルやローズウォーターで肌の手入れをするのが一般的だ。カザンラクで薔薇と共に暮らす医師のヤンコヴァ・デミトリーナさんは

「薔薇は、ブルガリア人の生活に密着した花です。海外へはフレグランスの原料としてローズオイルを輸出しています。国内ではさまざまな形で利用しており、ここ15年ほどでは女性特有の疾患など医療にも利用されるようになってきました。研究すればするほど、薔薇のもつ奥深い力に感動しますね」。去年の「バラの女王」ボヤナ・チャカロヴァさんは「薔薇のジャムは胃を丈夫にすると教えられ、毎日のように食べています」と語り、元新体操選手ジャネッタさんも「小さい頃からローズウォーターでスキンケアするのが当たり前でした。ブルガリアの女性にとって、薔薇は毎日の生活に欠かせないものなのです」と言う。はにかんだような表情からにじみ出るブルガリアの女性たちの温かい魅力。薔薇に祝福されたその笑顔は、いつも内側から輝いていた。

“咲きたて”にこだわった 薔薇の希少性

夜明けの薔薇を覆う朝露。この朝露に濡れた薔薇が香りの原料として最高



“咲きたて”のみを
手摘みするこだわり

早朝4時。カザンラクで薔薇摘みが始まる時間だ。カンガルーのような大きなポケット付きのエプロンを締めた老若男女が、いっせいに広大な薔薇畑に散っていく。遠くの間から太陽が昇り、朝露に濡れたピンクの薔薇のつぼみがほころんできた。摘み取りのタイミング。そのときを知らせるかのように、あたり一面にえもいわれぬ豊かな香りが立ち込め始める。この“咲きたて”のブルガリアンローズこそが、良質なローズオイルをたつぷりと抱える“貯蔵庫”。摘み取りはすべて手作業。とげのある薔薇の木から花の部分だけをもぎ取るのは、実に根気を要する作業。手は瞬間に引っかけ傷だらけになっていくが、花が開ききり、朝露が消えて乾燥してくるとたんに香り立ちが弱くなるので、泣き言を言っている暇はない。

カザンラクはバルカン山脈の南側に位置する、山と山に挟まれた谷の地形。この地形から“薔薇の谷”とも呼ばれている。水はけがよく、肥沃すぎない土壌は、薔薇の栽培に適しているという。薔薇の咲く時期に雨が降るのも、香り高い薔薇を収穫するのに最高の条件。山は、風を遮り、薔薇の花が乾くのを守ってくれる。他国で同じローズを育て

ようと思っても根づかないのは、このような“奇跡的”ともいえる条件になかなか恵まれる土地がないから。ブルガリアにはカザンラクのような条件の土地がカルロヴォ、プロブディフと各地に点在する。

3トンの薔薇からたったの
1kgしか採れないオイル

ぎっしり詰まったこの袋
25個分が、1回の蒸留に
投入する量



運ばれたら時間をおかずすく蒸留釜へ。薔薇の花袋を持ち上げるのは、かなりの重労働





1400個の花から採れるローズオイルは、たった1g



沢に使っている。

のスタッフの「鼻」だけが頼りです」

資生堂の限定フレグランス「ローズルーージュ」に使われているヴェンテージュブルガリアンローズオイルは、ネノフ氏の鑑定書付き。今回2005年に採れたローズオイルを厳選し、ローズルーージュのために特別にブレンドしたものを贅

あるローズオイルを、一定の品質に保つよう長年、鑑定し続けている。「天然のローズオイルには、350種類以上の成分が含まれているんです。複雑で微妙なローズオイルの香りの違いは、機械では鑑定できません。私をはじめ、訓練を受けた数人

抽出されたオイルは、鑑定人が厳しくチェック

苦勞して摘み取られた薔薇は、トラックや馬車で即、蒸留所へ。時間がたつてしまうと「貯蔵庫」からローズオイルがどンドン逃げてしまうので、一刻を争う作業だ。ステンレス製の蒸留釜に入る薔薇の量は500kg。畑で薔薇の花が詰められた袋はひとつ約20kg。これを25袋分、次々に湯気の立ち上る釜に入れるのは、大の大人の男性でもかなりの重労働だ。

蒸留で使われるのは薔薇のほか、近隣で採掘された天然水だけ。アルコールや薬品を使うほかの蒸留法と比べ、手間ひまのかかるこの「水蒸気蒸留法」こそが、ブルガリアンローズの奥深い香りを引き出す秘密。ブルガリアでは、一度水蒸気蒸留したオイルをもう一度蒸留する「二重蒸留」を義務づけており、他国ではまねできない高い品質を保っている。

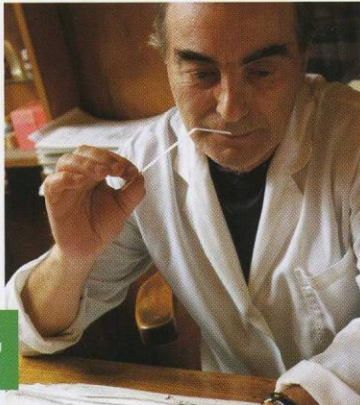
その品質を管理するのは、ブルガリア国立バラ研究所・所長、ニコライ・ネノフ氏。自然の産物ゆえ、できにバラつきの



抽出されたオイルは、鑑定人が厳しくチェック



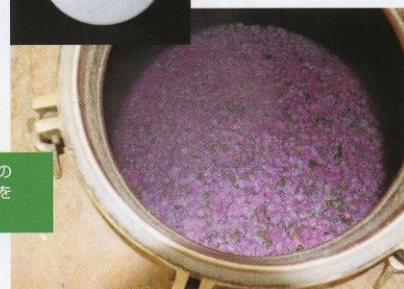
ネノフ氏のサイン入りの鑑定書。この鑑定書がないものはブルガリアンローズとして認められない



ニコライ・ネノフ氏
ブルガリア国立バラ研究所・所長。ブルガリアの各地から運ばれてくるローズオイルを鑑定し、微妙に異なる香りの特徴により分類。ブルガリアンローズの番人のような存在



ネノフ氏が鑑定した、真正正銘のローズルーージュのためのブルガリアンローズオイル



約2時間後、1回目の蒸留が終了。これをもう1回蒸留する



薔薇からエッセンシャルオイルを抽出する水蒸気蒸留の釜

薔薇の香りで、なりたいたい女性像、自由自在

清楚な 無垢 白薔薇のような女

白薔薇をイメージしたロングセラー香水。ブルガリアンローズを贅沢に使用した清楚で気品あふれる香りは、まるで純白のウエディングドレスに包まれた花嫁のよう。実際、結婚する女性へのギフトとしても人気。ホワイトロースナチュラル 32ml ¥23100/資生堂



上質な 優雅

ヴィンテージブルガリアンローズの気品高く、優雅な香りはもちろん、光の入り方で表情を変える多面体の美しいボトルも魅力。赤薔薇をイメージした、情熱とやさしさを併せもつ香り。ローズルージュ パルファム 32ml ¥21000/資生堂(11/21数量限定発売)

大人の色香を放つ女

「女っぷり」を引き出す
表情豊かな3つの香り

薔薇を身にまとうと、女性はキレイになる、輝きます。この実にわかりやすい方程式を、薔薇の花束を抱えずとも自分のものにする方法がある。それは、薔薇のフレグランスを身にまとうこと。資生堂では古くから香料研究が盛んに行われ、84年からは香りの効用を科学的な方法を用いて証明しようとするアロマコロジー研究に取り組んできた。これにより薔薇の香り成分(ティエーローズエレメント)がリラックス効果をもたらすことも判明している。

ひと口に薔薇のフレグランスといっても、ブルガリアンローズのような天然の薔薇から抽出したローズオイルを使用したものと、現代薔薇の咲いているままの香りのよさを再現したものとは、随分香りの表情が違ふもの。いろいろ試してみても、自分の好きな薔薇の香りを見つけたら、シーンによって香りを使い分けたりと、積極的に楽しみたい。

Rose Bible
Part 3
薔薇の香りを楽しむ

みずみずしい 幸福 笑顔を決やさない女



1 みずみずしい薔薇の香りで安らぎ、湯上がり後もほのかな香りが持続。ばら園 ローズバスエッセンス 200ml ¥1575 2 保湿効果にすぐれ、カサつくボディをうるおいたっぷりのなめらかな肌に。薔薇のアロマ効果でリラックス。同 ローズボディーミルク 200ml ¥1575 3 きめ細かくクリーミーな泡立ちが全身を包み、肌のうるおいを守りながらしっとりやさしく洗い上げる。薔薇のアロマ効果でリラックス。同 ローズボディーソープ 300ml ¥1050 4 髪と地肌にうるおいを与え、ばさつかずまとまりやすい髪に。みずみずしい薔薇の香りが持続。同 ローズコンディショナー 300ml ¥1050 5 豊かな泡立ちと共に、みずみずしい薔薇の香りが豊かに広がる。地肌にうるおいを与え、髪のダメージやキューティクルを補修。同 ローズシャンプー 300ml ¥1050 6 天然ブルガリアンローズの豊かな香りが広がり、上品でみずみずしいリビングローズの香りが柔らかく持続。同 オードパルファム 50ml ¥2940 / 資生堂(すべて11/21発売)

今回数量限定で発売される「ローズブルージュ」を含め、資生堂の薔薇のフレグランスは3つ。ひとつは今からなんと70年前に登場し、ずっとファンを魅了し続けている白薔薇の香り「ホワイトローズナチュラル」。高貴でありながら繊細さと清楚さも併せもち、マキア世代にも着々とファン層を広げている香水だ。「清純な愛」という花言葉をもつ白薔薇の香りは、不調ぎみの恋愛の運氣も上げてくれそうな気がする。

今回登場した「ローズブルージュ」は大人の女性の階段を一步上りたいマキア世代の女性にこそ、ぜひつけてほしい赤薔薇の香り。ヴィンテージブルガリアンローズの優雅な香りが、女っぷりを引き出し、気になるあの人へのアピール力もアップ。年末のパーティー、デートにもぴったりだ。また、毎日の生活に薔薇の香りを取り入れるなら、新しくなった「ばら園」がおすすすめ。咲きたての薔薇に着目し、香りをリニューアル。リラックスアロマ効果がアップし、うるおい効果も強化された。上質な薔薇の香りに包まれながら、優雅なひとときを過ごしたい。